

マツカレハ

208年7月掲載の筏バンドブログ(私のブログです)に、マツカレハ幼虫の写真とともに次のくだりがある。「『我輩は嫌われ者のマツカレハである。人間の好きなタバコよりもこの松葉のほうがよっぽど上手いのである。』とでも言っているようです。これは我が家の松に住んでいるマツカレハの幼虫毒毛虫です。見ている前で3本の松葉をたいらげていました。1本食べるのに2分45秒です。(それを見ていた私も暇ですが)」。



私の年齢くらいの松ノ木だがこの年は殆ど葉が食べつくされて、松くい虫に乗っ取られたのかと心配した記憶がある。成虫になったマツカレハは生まれた木に戻って産卵をするのか翌年は薄気味悪いほど毛虫が這い回っていた。虫も殺さない私だが小さい子供に害を与えてはいけないと、この時ばかりは殺虫剤を取り出した。

マツカレハの幼虫は胸部と頭部付近に毒針毛を持っている。「本種の毒針毛はドク

ガ類とは違い、刺さった毛束が肉眼で見えますので、刺されたときはピンセットとセロテープでいねいに除去するようにします。」ということだが試してはみたくない。1~2週間痛みは続くそうである。また、繭には幼虫の時にもっていた毒針毛が残っているそうである。現在も松ノ木に3個付いている。



そのマツカレハの成虫がお盆の夜に我が家に飛来した。普段は人がいないので無灯火だが、この日はお盆の棚を飾って蛍光灯が付いていた。そこに他の虫たちと共に訪れたのである。近くに松ノ木もあるし格好の住処かもしれない。